CONNECTING THE NORDICS & JAPAN

#NordicMade

2020年9月30E

イノベーション・ラボ・アジアニュース

北欧で一際目立つ北欧・非北欧のシリーズA 4大インベスターとは?北欧のどの地域に投資が広がっている のか?

本号ではNordic 9による最新の分析2件、そしてTechBBQとDealroomが先週発行した報告書を基に引き 続き北欧各国でのVC投資について掘り下げていきます。 注:これらの報告書には新北欧地域のエストニアのデータは含まれていません。

Ninja VCはそのうちの1社)、そしてデンマーク2社(Heartcore とVækstfonden)です。 Nordic 9の分析によると、北欧VC第1位は「ファンド額約1472億円、世界レベルでも最も堅実で勢いのある

先月Nordic 9は主要な北欧VCリストを編纂しました。そこでは明らかにスウェーデンがエコシステムのこ のパートを支配しています。上位20社の内訳はスウェーデン12社、ノルウェー3社、フィンランド3社(Nordic-

北欧インベスター」のEQT Ventures(スウェーデン)。第2位が昨年約528億円を欧州スタートアップ支援の ために調達した<u>Northzone</u> (ノルウェー)、第3位が2018年にSpotifyにエグジットを果たした<u>Creandum</u> (ス ウェーデン)、そして第4位が目下約115億円のファンドを運用しているHeartcore (デンマーク)となっていま す。 さらにNordic 9は過去2年間に北欧で活動中の主要非北欧シリーズAインベスターリストを発行しました。そ

社、オーストリアが1社です。 上位3位は全て英国VCです。まずはデンマークのスケールアップTrustpilotのインベスターとして知られてい る「テック系専門の欧州最大のVC企業」Draper Esprit、「北欧でよりアクティブな非北欧インベスターの1社」

と呼ばれているBalderton、そしてスカイプの共同創設者の一人であるニクラス・ゼンストロムが始めたこと

こではトップは英国勢が占めています。上位20社のうち英国が11社、続いてドイツ4社、米国3社、フランス1

で北欧ルーツが強いAtomico。5位の GP Bullhoundもスウェーデン発祥の英国ベースVCです。 北欧へのVC投資がいずれも近隣諸国からというのは特に驚くべき事実ではありません。TechBBQ とDealroomが共同で発表した最近の報告書によると、デンマークとノルウェーへの全VC投資のうち80%が欧州と 北欧諸国からとの結果が出ています。スウェーデンとフィンランドは国際化が進んでおり、欧州と北欧諸国か らが60%、北米からが30%—これはデンマークとノルウェーの2倍の割合です。

アジアからの投資はと言えば、フィンランドを除き北欧諸国は比較的低調が続いています。フィンランドが12 %を超えている一方で、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンは全VC投資の2-5%程度にとどまっています。こ れはおそらく日本とフィンランドの長年の密接な関係の結果だと言えるでしょう。

— FI

北欧ニュースダイジェスト

<u>調達ラウンドを約18億4000万円</u>でクローズ IS 北欧のゲームエンジンユニコーンUnity、アイスランド企業として初めて米国での新規

Solars Foods、水・電気・空気でできた栄養素のための初の製造施設にシリーズA資金

- 株式公開で約105億円達成 World Airplay Radio Monitor (WARM)、シードラウンドで約1億5300万円を調 **DK**
- 達。Sonyを自社の音楽認識技術の投資家リストに追加 SE スタートアップTracklib、オリジナルミュージックから迅速にサンプリングして許諾申請
- を行うサービスに、Sony Innovation Fundら他の投資家から約4億7500万円を調達 **←** FI Attractive.AI、UX分析にボットを利用するウェブサイト向上のためのソフトウェアデザ

インにプロサッカー選手本田圭佑氏ら投資家からの資金調達ラウンドを約1億500万

- 円でクローズ NO 石油地質学ソフトウェアソリューション開発の<u>Earth Science Analytics</u>、約9億800万
- EE EE Sentinel、ディープフェイクやフェイクニュースを検出する技術に<u>およそ1億4250万円</u> を調達

どのような法務サービスをどのようなマーケット向

けに提供しているのですか? Bird & Birdはグローバ ルに事業展開するテック系企業へのリーガルサービ スを専門とする国際法律事務所で、日本進出を目指

「BIRD & BIRD」インタビュー

円を調達

ます。また北欧・欧州他国で事業設立を検討中の日 本企業や投資家向けに法務アドバイスも行っていま す。北欧・欧州他国への進出に関連する法務支援に 加え、個人データ規制のコンプライアンス、サイバー セキュリティー、企業の自由な事業運営を目的とし たIP・特許のデューディリジェンス評価などのサポー トもしています。 日本のイノベーションエコシステムとの相互関係か ら何が得られた、またこれから得られるのでしょう か? この数十年間で米国、欧州や北欧諸国は、ボト ムアップでイノベーションを推進するビジネス文化 でパイオニア的なソリューションを次々と生み出して きました。日本のエコシステムはこのような経験から

代から現在に至るまで急速な技術発展を遂げ、多く の技術分野の第一線で活躍しています。そう言った 意味で日本と北欧は互いの知識を交換できる可能 性は高いと思います。例えば、日本は従来の企業イ ノベーションではなく官民パートナーシップで推進す るイノベーションについて大いに学べるのではない でしょうか。そして日本で多く見られる企業と研究機 関のコラボレーションは北欧側が学べることです。日 本も北欧も高齢化社会に向けたロボティクス、AI、お よびその他テクノロジーでは最前線にいるのでヘル スケア分野で互いに学び合えることも多いと思いま す。 北欧のテック系企業、また日本のテック系企業にと って相手側の市場参入における最大の壁は? 北欧 で会社を設立することは、形式にこだわる日本とは 対照的にオープン経済と透明性の点から至って簡単 です。北欧での最大の法務上の障害は、マネーロン ダリング防止や顧客情報規制など、国内市場規制へ の厳格なコンプライアンスでしょう。ただしこれは北

欧に限った問題ではなく、今の世界の動きの一部分 とも言えます。一般的には現地市場向け商品の販売 や開発、そしてパートナーとの関わり方など文化的 バリアがはるかに厳しいハードルだと思います。



TechBBQ開催のStartup Capital。 バルト諸国・北欧のプレシード、シード、シリーズAスタ •10月7日 ートアップと世界の投資家を繋ぐバーチャルなマッチメイキングイベント。

北欧イベント(オンライン開催のみ)

INNOVATION L A B ピーター・ヨハンセン **ASIA**

シード、シードステージスタートアップ向け3日間ピッチングイベント。

会社資金をArctic15で確保しよう! フィンランド・ヘルシンキ開催の北欧・バルト諸国プレ

編集者

•10月19-21日

jni@techbbq.org

プロジェクトマネジャー

ユリアン・森江・原・ニルセン 日本担当コンサルタント

pj@asia-house.dk

「イノベーション・ラボ・アジア」はデンマーク産業

財団の支援の下でAsia Houseと TechBBQが共同 で運営するプロジェクトです。詳しい内容について

は以下からご覧ください。

A A

OVATIO LAB ASIA

報告書(日本関連)



その他の報告書







ASIA HOUSE



TECHBBO



ICEL !! NDIC

COPENHAGEN

CAPACITY



NORDIC VENTURE NETWORK

NORDIC MAKERS

INNOVATION SKANE

Asia House | Indiakaj 16, Copenhagen | <u>www.innovationlabasia.dk</u> | <u>hello@innovationlabasia.dk</u>